



# Round Table Discussion

座談会

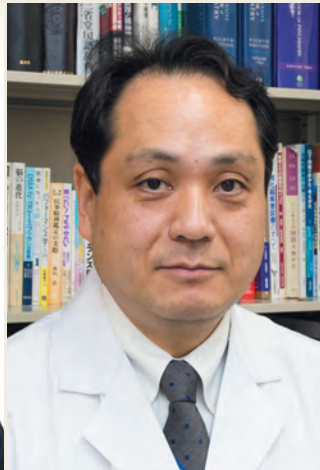


司会

村井 俊哉

MURAI Toshiya

京都大学大学院医学研究科  
精神医学 教授



尾関 祐二

OZEKI Yuji

滋賀医科大学  
精神医学講座 教授



諏訪 太郎

SUWA Taro

京都大学医学部附属病院  
精神科神経科 病院講師



松崎 朝樹

MATSUZAKI Asaki

筑波大学医学医療系  
精神医学 講師

(五十音順)

テーマ

## 精神科診断学を再考する

1980年発行のDSM-IIIではじめて操作的診断基準が採用されてから約40年、最新版であるDSM-5の発行から早8年が経過した。国際的な診断基準の登場は研究の進展に大いに貢献したが、DSMがメジャーになるにつれ、臨床現場における弊害も指摘されている。今回は、「精神科診断学を再考する」をテーマに、DSM-5との付き合い方、教育のあり方について議論いただいた。そして話は、人工知能(AI)の発展によって診断学がどう変わるのかに及びー。そう遠くはない未来への展望も併せてお届けする。